



冬の風物詩 ストーブ列車が 走り始める

毎年恒例となっているストーブ列車が、今年も津軽の冬を駆け抜けます。12月1日(水)には、一番列車出発セレモニーが津軽五所川原駅で開催されました。セレモニーでは三味線演奏会のほか、一般の乗客を交えたテーブルカットも行われました。ストーブ列車は、昭和5年(1930)の冬から始まり、以来、県内外の多くの人から愛されてきました。そんなストーブ列車を運行する津軽鉄道は、乗客数が伸び悩んでいる状況です。長きにわたって、住民の足として地域を支えてきた津軽鉄道。年末年始や冬休みは、家族や友人と乗車して、レトロ車両のノスタルジックな雰囲気を楽しんでみてはいかがでしょうか。

